

## 2016J2

### ■順位表■第19節(暫定)

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績(岐阜から見て)

1*	1	札幌	39p	+14	27	13	H●
	2	C大阪	37p	+6	25	19	H●
	3	松本	35p	+12	25	13	H●
	4	岡山	35p	+10	30	20	AO
1*	5	京都	33p	+9	26	17	
	6	町田	32p	+7	21	14	A△
	7	山口	31p	0	27	27	H●
	8	清水	30p	+15	31	16	H△
	9	千葉	29p	+5	26	21	A●
	10	岐阜	24p	-7	23	30	---
1*	11	愛媛	23p	-3	13	16	AO
1*	12	山形	21p	-3	15	18	H●
	13	讃岐	21p	-5	21	26	A●
	14	徳島	21p	-6	18	24	AO
5*	15	熊本	20p	+1	16	15	
1*	16	横浜FC	20p	-1	19	20	AO
	17	東京V	20p	-9	16	25	A△
1*	18	水戸	19p	-1	15	16	HO
1*	19	長崎	17p	-7	21	28	H●
	20	群馬	17p	-9	22	31	A●
	21	北九州	14p	-14	15	29	HO
	22	金沢	12p	-14	18	32	AO

注：\*のついたチームは消化試合が  
前の数字だけ少ない(1\*は1試合)

## 次回HomeGame

第21節 vs.京都サンガ

7/3(日) 19:00

@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場



本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

## 岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23  
tel:058-273-8998

## ALADDIN

何も無い店だけど..

心の花が咲く..

何も無い店だけど..

心癒される..

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

## today's guest : ロアッソ熊本

2015 J2 13勝14分15敗 勝ち点53:第13位

### 直近の対決と結果

2015/08/08  
J2-28節@長良川

岐阜 0-1 熊本

### ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	ロアッソ熊本
2016/06/19 J2-19節@ニッパツ 横浜FC 1-2 岐阜	2016/06/19 J2-19節@ベアスタ 熊本 2-0 讃岐
2016/06/12 J2-18節@長良川 岐阜 0-1 C大阪	2016/06/12 J2-18節@正田スタ 群馬 1-1 熊本
2016/06/08 J2-17節@味フィ西 東京V 1-1 岐阜	2016/06/08 J2-17節@ベアスタ 熊本 5-2 金沢

●中3日のアウェイ東京V戦で連敗を3で止め、再び中3日で6/12(日)第12節・セレッソ大阪戦に臨んだFC岐阜。しかし、東京V戦で改善されたと思えた試合序盤の守備の緩さがまたしても出て、わずか5分で失点。その後は岐阜が優勢に試合をすすめ、シュート本数ではセレッソを上回ったものの、得点には至らずに0-1での悔しい敗戦。ホームで6試合・2ヶ月半以上も未勝利という残念な記録を更新することとなってしまった。しかし、続くアウェイでの6/19(日)第19節・横浜FC戦は、前半に1点を奪われたものの、後半に2点を奪って見事な逆転。2-1で5試合振りの勝利を手に入れた。この2試合の結果により、FC岐阜は暫定順位を10位に上げた。9位・千葉との勝ち点差は5と少し離されてしまい、一方で下位には勝ち点差6以内に8チーム、うち5チームが未消化試合を残している状況だ。つまり中位争いで辛うじて先頭を走っているが、少しでも油断すれば一気に順位を下げてしまう位置にいるのが今のFC岐阜だ。1試合の勝敗で大きく順位が上下する激しい中位争いを乗り切るためにも、今日こそはホーム戦で勝利を掴みたい。

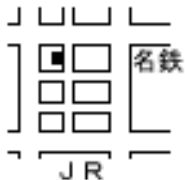
さて、今節の対戦相手は、現在暫定15位のロアッソ熊本。今シーズンは開幕で松本に勝利し、第5節で首位に立ち、第7節までは5位と好調だったチームだ。しかし熊本地震でホームタウンが被災し、その影響で約1ヶ月間リーグ戦にも参加できず、まともな練習もできなかった。そのため第13節からリーグ戦に復帰してもチーム状態が向上せずに4連敗と苦しんでいたが、6/8(水)第17節・金沢戦でリーグ復帰後の初勝利を挙げ、直近3試合では2勝1分。未だ被災地は完全に復興している訳ではないし、未消化の5試合を強行日程で開催することになるため今後も苦しい状況には置かれているが、熊本はリーグ戦中断前の好調だったチーム状況に戻りつつあると見て良いだろう。

熊本で最も注意すべき選手は、まずは14試合で6ゴールを挙げている#10清武功輝だろう。次いで4ゴールの#11平繁龍一。この2トップの復調が現在の熊本の原動力だ。岐阜の守備陣は彼らを自由にさせないよう、今節こそ試合の序盤から気持ちを引き締めたい。心情的には、熊本からレンタル移籍している#34田中達也には、熊本サポーターにも勇姿を見せてほしいところだが、契約によって出場できない。彼の分まで他の岐阜の選手たちに期待したい。

また熊本と岐阜は、共に2008年にJリーグに昇格を決めた「J昇格同期」だ。対戦成績もほぼ互角で、通算対戦は5勝6分7敗・22得点24失点。しかしお互いにホーム戦での成績が悪く、ホーム戦では通算1勝4分3敗・5得点8失点。昨シーズンもアウェイ5/17(日)第14節には、#4岡根直哉と#24難波宏明のゴールで2-1の逆転勝利を収めたが、ホーム8/8(土)第28節には清武功輝にFKを決められ、0-1で敗れている。現在の熊本の状況には心が痛むが、しかし、僕らは3ヶ月間もホームでの勝利に飢えている。熊本にホーム戦で勝利したのは2009年に遡るといふ悪い流れも断ち切りたい。被災地に暮らす熊本の「サッカーファミリー」に対しては、試合の前後には温かい支援を、そして試合中には一切手を抜かない激しい試合を。それが彼らに対する礼儀でもあるはずだ。「サッカーを楽しめる」喜びを噛み締めて最後まで選手に拍手と声援を送り、そして最後は3ヶ月振りの、勝利の万歳四唱を叫ぼう。(ささたく)

## 編集人(エディター)から一言:

本紙右上に『岐大通 2016 season10』とありますが、『岐大通』は2007年6月23日のJFL前期16節・ガイナレ鳥取戦で創刊されました。この号(通刊175号)でよいよ「本当の10年目」に突入します。今後ともよろしくお願いいたします。(編集人:吉田铸造)



「いらっやいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。  
『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から  
徒歩3分。  
休:月曜日

投稿募集!!  
アドレスが変わりました

[gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第18節】岐阜0-1C大阪

●SEINO サンクスマッチ……あらためて、西濃運輸さんがFC岐阜のユニフォームスポンサーになってくれている現在の状況に感謝する良い機会になりました。あと、本日限定のスタジアムグルメが美味しかったです。…ってというような感想文的に終わってしまいたいぐらい、試合前は充実してましたよ、ええ（苦笑）。

何度も何度も何度も何度も、「試合の入り方が課題」って言われてるしチーム全体で自覚してるはずなのに、もう“様式美”かってくらいに前半15分までに失点するのは何故なんですかね…（溜息）。そりゃセレッソは強いチームだし、個々の選手の能力も高いし、これまで8試合で1回しか勝ったことではないけれど、それにしたって…。しかも、絶対的エースの#8柿谷曜一朗を前節の負傷で欠き、うまくチームが機能していないように感じられるチームを相手に、こちらも付き合ってあげる必要は無いでしょうに…。もちろん惜しいシーンは何度かあった。けれど、今節はホーム戦。もっと思い切ったプレー、貪欲にゴールを、勝利を狙う岐阜の選手たちの姿を僕らは見たいのに、それが無い。後半はさらに酷くなり、連携やパスやシュートの精度を欠き、時間だけが過ぎてゆく感覚。相手には申し訳ないけれど、このセレッソになら勝たかった…。柿谷がいないし、古巣への復帰が発表された山口蛍も今はいない。実に勿体ない敗戦。そして、入場者数が8,000人を超えた試合で、また勝てなかった…。入場者数7,000人を超えた試合に規模を下げてみても、現在6連敗中。引き分けですら2015年6/28（日）第20節の群馬戦以来、勝利になると2015年ホーム開幕戦の3/15（日）第2節・讃岐戦以来。もちろん入場者数が多い試合というのは、だいたい強い相手なのだけれど、この現象を何とか打開しないと、なかなか観客増に繋がっていかないだろう。そしてそれは、スポンサー増にも繋がらないし、練習場などのクラブ環境の向上にも繋がらないだろう。「試合結果は水モノ」と言うけれど、ホーム戦の、特に入場者数の多い試合での勝利には、もっとクラブ全体でこだわって欲しいと、これまでクラブ経営や収入の心配をしてきた（苦笑）サポとしては、思ってしまうのです。（ささたく）

●またしても開始早々の失点。もう、これは仕様だからしょうがない。そう思いつつ、いやいや、これは流れの中での失点だから以前とは違う。向こうのSBにあの位置まで潜り込まれた時点で勝負あり。開幕した頃の脱力するようなチョンボからの失点ではないのだよ。だから、気にすんな。そう、自分に言い聞かせてはみたものの……（苦笑）やっぱり、憚然としてしまうよねえ。リーグの折り返しも間近なんだから、そろそろ何とかありませんか？

一身上の都合で長良川に参戦できず、出先の某バーガーショップでスマホ観戦してたんだが、けっきょくエヴァがどこのポジションだったかわからないままで試合終了。スマホの画面が小さいからわからなかったのかな？と、帰宅して大きな画面で見直したが印象には変わりなかった。あたりまえですが……（笑）。要するにボランチだったワケね。だから、あの低い所をウロチョロしてたんだな。でも、結局最後の方は前に上がってだし、正直何がやりたかったかわかんない。却って、周りが混乱してたように見えた。だって、ちっともパス出さないんだもん。せつかく、周りの選手がイイ位置でフリーになってるのに。だいたい、彼にはボランチの経験あるんだろうか？いつもおなじことを書いてきたけど、練習でやってないことは出来ない。やってたとしても、こんな有様だと、本番でのプレッシャーが全く想定出来ていないんじゃないの？もったいないよ。確かに、何回かはバイタルエリア、ペナルティ・アーク辺りからのシュートは撃ってた。でも、相手GKを脅かす場面は無いに等しかった。そして、試合終了後の相手には余力が感じられた。残念だよな？強豪だし、上位には違いないけど、桜だって完璧ではない。その証拠に首

位じゃないし、すでに4敗もしてる。試合だって、圧倒されたワケでもなければ、スキがなかったワケでもない。それだけに残念だよな？

とはいえ、自分的には全く収穫がなかったわけではない。潤は、ようやくSBの仕事始めた模様。それと田代。イインじゃないでしょうか？今後に期待したいというところですが……。今月も残り二試合。案外、重要な分岐点になるやもしれない。そんな気もします。どうか、イイ方向に切り替わってほしい。そうなるよう祈ってます！

（ぐん）

●元・中日ドラゴンズの山本昌氏がラジコンカーの技を披露したり、毎年おなじみのイベントになった「加茂『のうりん』高校」による『飛騨牛の基盤乗り』もあったし、おまけに「水口ケツ・カー」の走行パフォーマンスにFC岐阜の美人広報が“カラダを張って”挑戦とか、試合前のイベントで「お腹いっぱい」。でもね。

試合はいつものようにサイドをトーンと破られての失点。ゴールエリアまで持ち込んだ選手には「そのままGKの肩口を狙うシュート」「すぐ横にパスを出してFWに突っかせる」「思いつきマイナスの方向にパスを出してボランチに叩かせる」の3つの選択肢があった。そりゃ、なんだって出来るさ。

もしかして、FC岐阜って対戦相手の事前のスカウティングをやっていないんじゃないか？という気がしてきた。だから、序盤は「相手はどうやって仕掛けてくるのだろう……」と様子見から試合に入らざるを得ない。一方、相手は「岐阜は序盤は様子見で来るから仕掛けてしまえば主導権は握れる」、と。そうでもなけりゃ、この「試合序盤の失点癖」の説明がつかない。たしか「データ分析担当」のスタッフさんがいたはずなんだけど……。

上位と下位が離れていくリーグ展開だからこれだけ停滞していてもこの順位が守れているという、それだけのこと。すぐ下の順位には「消化試合が少ない」チームが多くいることもあり、また「いつもの残留争い」に巻き込まれる可能性もある。今季は『J3順位表』は載せたくないんだけどなあ……。（吉田铸造）

## 【ユース】クラブユース選手権

●我々がFC岐阜ユースU-18（以下FC岐阜ユース）はクラブユース選手権の全国大会出場権をかけた試合に臨みました。対戦相手は名古屋グランパスのユースチーム。U-18世代のトップリーグであるプレミアリーグWESTで戦っている言わずと知れた強豪チームです。うちのトップチームにもOBがいますね。試合は6/12に静岡県立の竜洋スポーツ公園サッカー場にて行われましたが、結果は1対14の惨敗（涙）いや、何があったんだ？って位の大敗でした。今年のクラブユース選手権の全国大会にはエスパルス、グランパス、JFAの3チームが行く事になりました。プレミア、プリンスリーグのチームの壁を乗り越えるのは大変ですね（ため息）。次のクラブ戦は秋のJリーグユース杯となります。

G1リーグは昨日25日（土）に第5節帝京大可児戦があった筈です。リーグ首位を全勝で突っ走る帝京大可児に土を付ける事が出来たのか？吉報が届いている事を願っています。

FC岐阜ユースの次の試合は7/2（土）のG1リーグ第6節の関商工戦となります。試合は笠松のGFCにて12時半KO。この日はトップチームの試合と重なっていませんので、良ければ応援に行ってください。

頑張れよ、応援しているからな！FORZA！FC岐阜ユース！！  
※試合会場・時間は変更される場合が有ります。必ず岐阜県サッカー協会やチームの公式サイトで確認して下さい。（シュナ）

## 【第19節】横浜FC 1-2 岐阜

●アウェイでの直近下位との一戦。しかも相手の横浜FCは監督が体調不良により交替しての初戦。これが吉と出るか凶と出るか…そして残念ながら、その不安材料が凶と出た試合の前半だったかな、と思う。

スタメンの#6高地系治と#24難波宏明にとっては古巣となる横浜FC。新たに就任した中田仁司監督がどんな采配をするのかと想像していたら…どうやら「カズにボールを集めてきてる？」ってんで正直少し驚いた(苦笑)。でも、これが機能してる…というか、僕に言わせれば、機能させてしまっている岐阜の守備。おいおい、いくらキング・カズだっていってもリスペクトしすぎだろ…って思ってた、ゴール前でフリーにヘディングを許してしまって、ゴール献上。最年長得点記録を49歳と3ヵ月24日に更新、そして「カズダンス」…ホント、先制点を相手に献上してから勝負するのが今年のウチの戦術なのかしら(溜息)。失点の前には#30田代雅也のポスト直撃のヘッドもあったので、立て直せるかと少し期待したんだけど、失点後の方が全然ダメで(苦笑)。横浜が前線からプレッシャーをかけてくるので、岐阜は迷いながら後方でボールを回すのだけれど、中盤で効果的に繋げずに安易なバックパスで再び後方に。仕方がないので大きく前線に縦パスを出すけれど、精度が悪くてボールを奪われる。ドリブルで仕掛けてみても、複数人に囲まれてボールを奪われる。攻撃も守備も全く為す術が無いような状況で、不安だらけのままで前半終了。こりゃ後半どうするつもりなんだ…って陰しい気持ちで考えてたんだけど、後半アタマから#14風間宏矢を投入して修正したら、機能しちゃうんだから、サッカーは難しいよねホント(苦笑)。後半早々に、右サイドから#2阿部正紀が上げた針の穴を通すようなクロスをもつ#33レオミネイロがニアでボレーして同点弾！その後は一進一退の攻防が続いたけれど、わずかな隙を見逃さなかった阿部正紀が、今度は美しい軌道の見事なロングフィードで、前線を独走していたレオミネイロに渡し、レオは飛び出してきたGKをかわして無人のゴールに逆転シュート！！レオも素晴らしかったけれど、阿部ちゃんの2アシストも実に素晴らしかった。ただまあ、2選手の個人技に頼った2得点だったような気もしています(苦笑)。

助かったのは、同点そして逆転されてからの横浜FCが選手交代で“放り込み”に徹してくれたことかな。パワープレイに対する跳ね返しは得意なのよね、ウチ(苦笑)。あと横浜の#8佐藤謙介を退場に追い込んだ阿部ちゃんの粘り強いプレーも素晴らしかった。#21GK高木義成のビッグセーブにも助けられて、粘り強くボールを跳ね返し続け、そしてレオの、あわやハットトリックかっていう、ポスト直撃のシュートなど惜しいシーンもありつつ、そのまま試合終了。アウェイ5/15(日)岡山戦以来、6試合ぶりの勝利。というか、その前の勝利もアウェイ4/23(土)金沢戦…。ホームでは2勝1分6敗・6得点15失点、アウェイでは5勝2分3敗・17得点15失点って、どんだけ“外弁慶”なのかしら。ここまでくると、ホーム戦で勝てないのは、もう絶対なにか明白な理由があるとした僕には思えないんですが…(苦笑)。

そして、まあ…決められた時から覚悟はしてましたが、試合結果よりも優先して報道されるのは「最年長ゴール記録更新のカズ」「1年ぶりのカズダンス」ですよね(苦笑)。スカパー！もネットニュースも民放も、はてはNHKまでもが同じ…。しかも、ベストゴールにノミネートまでさせちゃうし。あれよりは、よっぽどレオの1点目の方がゴラッソだったと僕は思うんだけどなあ…まあいいや、勝ったから心に余裕があります(笑)。

とはいえ、やっぱりホームで勝って欲しいし連勝もしたい。だから、今度こそ、何度目の正直か判らなくなるぐらいに今度こそなんだけど、ホームでの勝利を！！

(ささたく)

●いや～、実に信じられないモノを見た。現地にいても目を疑うというか、目が点になっていたかもしれない。レオミの2点目を演出したアベちゃんのミラクルな超ロングのグラウンダー・スルーパス。あれは何と表現したらいいのか。一条の矢？レーザー・ビーム？コース、スピード、タイミング。すべてがこれ以上ないくらいのファンタスティックなアシスト。アレが今節のベスト・ゴールにノミネートされないなんて……。どうかしてるぜッ、まったく。我が国のスポーツ・ニュースのレベル云々、という意見を翌日辺りから拝見したが、有料であり独占契約をしている(していた?)某スカパー〇でさえ、文字通りスルーしてしまうんだから後は推して知るべし。で、拳句にわかりやすいミドル・シュートとか最年長ゴールを臆面もなくベスト・ゴールにノミネート。ゴールは一人きりの能力で生み出せるワケじゃないんだがね。もちろん、一人きりで決めちゃうゴールもあるのは百も千も承知の上だ。それでも、横浜戦のウチの2点目は、年間ベスト・ゴールにノミネートされて当然のゴールだった。そして、それは同点ゴールも同じ。難波のポストからキャプテン→難波→アベちゃん、そして仕留めのレオミと、全てワンタッチの流れるようなゴールが評価されないなんて、どうかしてるぜ、まったくね。ホント、昨日は2点ともウチじゃ考えにくいゴールだった(笑)。ただ、仲間から「王様(カズ)のゴールなんだからしかたがないよ」と諭された。わかりました。納得です(苦笑)。

しかし、アシストが両方ともアベちゃんとは。西が丘での同点ゴールも素晴らしかったが、あんなラスト・パス出せて、真ん中でもできるDFなんて、移籍ウインドウが開いたらドコぞの上位カテゴリーのクラブ辺りから……。いや、正直すまんかった、とジャンピング土下座でアベちゃんに詫言なければ収まりがつかないような活躍でした。2得点のレオミがマンオブザマッチになるのはやむを得ないが、影のMVPはアベちゃんです(ボク的には、マンオブザマッチでも問題はない。それくらいの活躍だった)。バンディエラといい、アベちゃんといい、使い続けることによって格段の、目を見張るような成長を遂げることがあるという見本だねえ。その伝でいけば、「某抜群の空間把握能力を持つ」とかいうイケメンもいつかは……。

それにしても、現地組がうらやましい。田代の「そこへ当てての方が難しいだろ！」とツッコみたくなるようなシュート以外はまったく見どころがなかった前半から、それらは全部前フリだったのか、と思わせるような大逆転劇。いや、ホントにウラヤマシイ限り。やっぱり、現地へ行かなきゃね。おつかれさまでした&おめでとうです>現地組。

サッカーは45分あれば勝てる。いろいろ見どころ満載な試合でありました。ホントに勝ててよかった。でも、苦言を一つ。レオミの同点ゴールに相手DFは競りかけてました。それでも決めきったレオミはエライ！反対に、先制ゴールのキングはどフリー。決められて当然。そりゃ、ヨシナリも前半終わった時にむちゃくちゃ儼然とした顔さらすのも当然。よく流れを持ってこれたな。ホントに勝ててよかった。残留のためには下位のクラブに負けたくないこと、勝ち切ること。それが実践できて、本当によかった……。

(ぐん)

